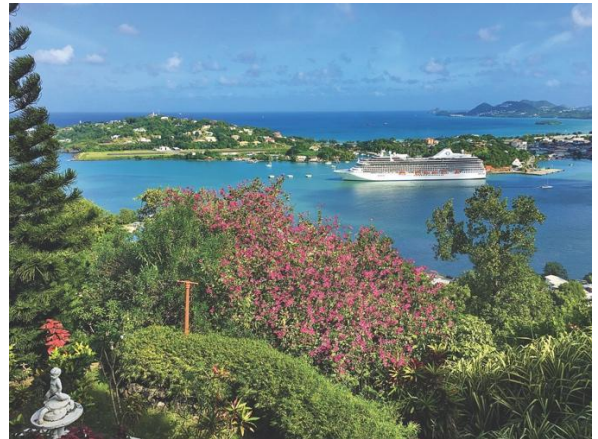




オーシャニアクルーズ タヒチクルーズとカリブ海クルーズで南国を満喫

ラグジュアリーな小型船体験と考え抜かれた寄港地ツアーの究極の出会い
2024年以降の100クルーズで知られざる珠玉の島々へ



東京 2023年8月10日 - 美食と美酒と寄港地の魅力を追求し世界を牽引する[オーシャニアクルーズ](#)が、2024年と2025年にタヒチとカリブ海で多種多様の100クルーズを実施。いずれもまだまだあまり知られていない海岸線に分け入り、小規模な港や人里離れた島々にまで至るもので、ラグジュアリーな小型客船ならではの魅力的な旅程です。フランス領ポリネシアでの必見は、賑わいのパペーテ、楽園の島ヌクヒバ、そして世界で最もロマンチックな島ボラボラ島など。カリブ海での大注目は、セントルシア島のカストリーズ、コスタリカのプエルトリモン、パナマのガトゥン湖、コロンビアの壮麗なコロニアル都市カルタヘナなどが挙げられます。

マリーナ、ノーティカ、シレーナ、そしてオーシャニアクルーズ新造船ビスタで行く珠玉のクルーズセレクションの出航地はマイアミ、カルタヘナ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ブリッジタウン、パナマ、パペーテの各港。南国の島々で植民地時代の都市を訪れたりしながら、のんびりとした島の雰囲気にはまりることができます。カリブ海のクルーズは7日から16日の日程でブリッジタウン、カルタヘナ、グスタビア、プンタレナス、サンファン、セントジョンズなど、注目の港に立ち寄ります。その多くのクルーズが日中にパナマ運河を通過して、アカプルコ、カボ・サン・ルucas、プエルトケツアルといった太平洋リビエラの有名港とカリブ海の人気観光地を結びつけます。

60港以上の没入感満喫型寄港地が含まれるクルーズはどれもオーシャニアクルーズならではの企画力で組み立てられたもの。フランス領ポリネシアのモーレア、ライアテア、ランギロアや、カリブ海のバーブダ、ドミニカ、英領バージン諸島等、まだまだあまり観光地化されていない小型客船でしか入れない小港やヨットハーバーにも分け入るまさに至福の逃避行です。



非日常の理想郷、長閑な美しさと静寂の楽園・フランス領ポリネシアを最もゆったりとした気分で訪れることができるのもオーシャニアクルーズ。タヒチ島、ボラボラ島からモーレア島のサファイア色の海まで、世界で最も遠い魅力満載の島々を網羅する南太平洋の旅では、ブルーラグーン、サンゴ礁の環礁、暮れ残る夕空など、数限りない感動が展開されます。乗客数 700 名以下のノーティカで南太平洋の宝石を訪れるクルーズは 10 日間の日程で実施されます。

カリブ海の見どころはセントルシアのピトン、アンティグアの 365 か所を数える白砂のビーチ、サンファン旧市街の青い石畳の道、コスタマヤのチャチョベンやコフンリッチのような聖なる古代遺跡など。パナマ運河を日中に通過し、中米の最も感動を呼ぶ寄港地が展開されます。

オーシャニアクルーズ社長フランク・A・デル・リオ は、「オーシャニアクルーズでは、寄港地滞在に重点を置いたタヒチとカリブ海のクルーズを幅広く取り揃えております。旅慣れたお客様や好奇心旺盛なお客様にも、人気は高いものの、まだ比較的手付かずの地域で新たな魅力を発見していただくことができます。丁寧に企画された多種多様の寄港地観光ツアーに、船上での小型客船ならではのアットホームな雰囲気と洋上最高の料理とが組み合わさった私共のクルーズは、ラグジュアリーな休日を求めるお客様にとって完璧な選択肢となっています」としています。

タヒチのハイライト

タヒチ島のパペーテはフランス領ポリネシアの首都。パペーテ市場、ロバート・ワン真珠博物館、のんびりできるパオファイ庭園など、観光客として楽しめる場所が多くあります。ファリュメ滝、アラホホの潮吹き穴、マラアのシダ洞窟などの見どころを訪れたり、ビーチでロングボードに乗るサーファーたちを眺めるのも一興です。

フランス領ポリネシアの離島のひとつ、夢のようなヌクヒバ島では、ヴァイポ滝、高さ 34m を超える世界で最も高い滝に数えられるテヴァイポ滝、黒砂のビーチ、ピキ・ヴェヒニの巨大ティキ像を訪れたり、岩だらけの島で四輪バギーに乗ったりも。

タヒチ島の姉妹島モーレアでは、濃い緑に覆われた山々や紺碧の海、白砂のビーチといった美しい風景に浸ることができます。透明度の高いラグーンでカヌーを漕いだり、リーフではシュノーケル、スキューバ、ヘルメットダイビング、そしてアフアレアイツ滝まで自然の中をハイキングしたりなど。

ドラマチックなおテマヌ山が、きらめくターコイズブルーの海とシュガーサンドのビーチを見守るボラボラ



島では、サンゴ礁に囲まれたラグーンツアー、ジェットスキーアドベンチャー、オフロードアドベンチャー、モツと呼ばれる小さな砂の島でのランチ付きポリネシアンデイなど、アクティビティはさまざまに。

手つかずの自然が残る**ファカラヴァ島**の生態系には、非常に珍しい鳥類、植物、甲殻類が見られます。懐かしさを感じる村々、古い珊瑚の教会、温かく迎えてくれる人々が壮大なラグーンを背景に、世界でも稀なパラダイスを作り出しています。

南太平洋の**ランギロア環礁**は、ラグーンに色とりどりの海洋生物が数多く生息するまさに天然の水族館。真珠養殖場、マンタとのダイビング、環礁のユニークなワイナリー、ピンクサンドビーチなどがハイライトです。

カリブ海ハイライト

コロンビアのカリブ海沿岸では、港町**カルタヘナ**がまず挙げられます。16世紀に海沿いに築かれた旧市街の城壁内には広場、石畳の道、カラフルなコロニアル様式の建物が連なります。美しい家並みで知られる住宅街マンガやかつてラテンアメリカで最も重要な軍事建造物だったサン・フェリペ・デ・バラハス城塞などには車で。白砂のビーチとサンゴ礁で知られる近くのロサリオ島とバル島へはボートで行きます。

コロンの南にある美しい淡水湖**ガトゥン**は、パナマを訪れる環境意識の高い観光客に長年愛されてきました。パナマ運河に通じる人造湖として運河建設と同時に作られたもので、面積はバルバドス島に匹敵。その広大な範囲に現在も豊かな生物多様性が維持されています。ナマケモノ、オマキザル、ホエザル、イグアナ、オオハンなどの野生動物が湖周辺の鬱蒼とした森林地帯に生息。マナティーもよく見られます。サファリボート、キャノピーツアー、カヤックアドベンチャーなどでは、この地域の濃い植物相や珍しい動物相を身近に感じられます。先住民エンベラ族の村があるチャグレス国立公園も近くです。

セントルシアの首都**カストリーズ**は、ヤシの木が立ち並ぶビジービーチや港近くの免税ショッピングで知られています。緑濃い美しい島を探索したり、史跡ラトック バッテリーフォートやバナナ農園を訪れたり、バグショーズではシルクスクリーンの製作も見学できます。ピトン峰のふもとにあるスフリエールまで南下すれば、市場のユニークなジンジャーブレッド様式の建築を見ることができます。また、雨林の中をサイクリングで美しい滝を目指したり、紺碧のカリブ海でカヤックを楽しんだり、壮大なサンゴ礁でシュノーケリングやダイビングなども。

活気あふれる首都**サンファン**では、豊かな文化と歴史が周囲の緑濃い自然と交錯する中、さまざまな冒



険を楽しむことができます。要塞に囲まれたサンファン旧市街には往時がしのべれます。近くのエルユンケ雨林は、熱帯の鳥や見事な滝がある国立公園です。食にまつわる徒歩ツアー、人気のラム酒蒸留所へのヘリテージツアー、ミュージアムやギャラリーの見学などで地元の文化に触れます。

2024 & 2025 年のクルーズハイライト

オーシャニアクルーズは、2023 年 10 月 1 日以降発のクルーズの新規予約を対象に、無料寄港地観光クレジット、無料ドリンクパッケージといった、これまで以上に簡潔にご利用いただける「シンプルモア」特典を提供しています。クルーズ体験をさらに高める価値を約束するもので、魅力的なデステネーションで忘れることのない思い出を作り、極上の贅沢を味わえるようにデザインされたものです。

ラグジュアリークルーズにおける最大の価値を提供するシンプルモア特典には、顧客が望むほぼすべてのものがクルーズ料金に含まれています。好きなツアーに利用できる 1 客室につき最大\$1,600 の寄港地観光クレジット。船内レストランでのランチやディナーで使えるドリンクパッケージでは、数十種類のビンテージシャンパン、プレミアムワイン、各国のビールなどが含まれます。

タヒチクルーズのハイライト

Tahitian Legends: ノーティカでパペーテ(タヒチ)発着、10 泊の周遊クルーズ。パペーテとボラボラで 1 泊。寄港地はモーレア、ファカラヴァ、ヌクヒバ、ランギロア、ライアテア。2024 年 1 月 20 日発。

Lands of Captain Cook: ノーティカでパペーテからシドニーまでの 31 泊。パペーテ、ボラボラ、シドニーで 1 泊。寄港地はモーレア、ファカラヴァ、ヌクヒバ、ランギロア、ライアテア、パペーテ、ボラボラ、パゴパゴ、アピア、スバ、アイランズ湾、オークランド、ロトルア、ギズボーン、ウェリントン、バーニー、イーデン。2024 年 2 月 19 日発。

Tahitian & Hawaiian Hues: ノーティカでロサンゼルスからパペーテまでの 18 泊。ボラボラとパペーテで 1 泊。寄港地はラハイナ、ホノルル、ヒロ、ライアテア、モーレア。2025 年 1 月 8 日発。

Tahitian Legends: ノーティカでパペーテ(タヒチ)発着、10 泊の周遊クルーズ。パペーテとボラボラで 1 泊。寄港地はモーレア、ファカラヴァ、ヌクヒバ、ランギロア、ライアテア。2025 年 2 月 15 日発。



カリブ海クルーズのハイライト

Golden Sands & Sunsets: ビスタでマイアミ発、10泊の周遊クルーズ。寄港地はセントジョンズ、カストリーズ、ブリッジタウン、グスタビア、サンファン、プエルトプラタ。2024年2月14日発。

Island Tapestry: シレーナでカルタヘナからマイアミまでの10泊。寄港地はサンタマルタ、オラニエスタッド、ウィレムスタット、カストリーズ、コドリントン、サンファン、グレートスターラップケイ。**Reefs & Rhythms** クルーズと組み合わせてカリブ海の20日間のマイアミ発着周遊にすることも。2024年3月17日発。

Beyond the Panama Canal: ノーティカでマイアミからロサンゼルスまでの16泊。パナマ運河を日中に通過。寄港地はグレートスターラップケイ、カルタヘナ、プンタレナス、コリント、プエルトケツアル、アカプルコ、カボ・サン・ルーカス、エンセナーダ。2024年12月23日発。

Radiant New Year: ビスタでマイアミ発着、12泊の周遊クルーズ。寄港地はコスタマヤ、ハーベストケイ、ロアタン、プエルトリモン、コロン、カルタヘナ、ポートロイヤル。2024年12月27日発。

客船のハイライト

ビスタ

オーシャンアの最新客船。乗客定員 1,200 名。ラグジュアリーの新たなスタンダードとなる 11 か所のダイニングには 3 か所の新たな代表的ダイニングとしてベーカリー・アット・バリスタス、エンバー、アクアマールキッチンと 8 か所のバー、ラウンジ、エンターテイメント施設、そしてアクアマールスパ+バイタリティセンター。スタンダードのステートルームには 27 m²という洋上でもっともゆとりあるスペースを確保。すべてのpenthouseスイートとステートルームに大型レインフォレストシャワーを備えた広いバスルーム。

マリーナ

乗客定員 1,250 名。オープンシーティングで追加料金がかからないグルメレストランが 6 か所。ラ・レゼルブ・バイ・ワインスペクテーターでは料理とワインのペアリング。プリベでは豪華なプライベートダイニングも可能。最先端のカリナリーセンター、製作意欲が沸くアーティストロフト、アクアマールスパ+バイタリティセンターも設備。現代的なセンスと洗練が融合し、エレガントでありながらくつろげる雰囲気醸しています。



シレーナ&ノーティカ

両船とも乗客定員 670 名。究極のラグジュアリーな小型客船による体験が凝縮。ライブラリー、アクアマールスパ+バイタリティセンター、バーやラウンジでくつろいだり、ショーを観たり、カジノで夜を過ごしたり。小型客船にしかアクセスできないまだあまり知られていない港を足場に、歴史に彩られた人気の町やリゾート地を訪れます。

オーシャニアクルーズの豪華な小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャニアクルーズについて

オーシャニアクルーズは洋上最高の料理と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員 1,250 名、全 7 隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験で、7 大陸 100 か国以上の 600 を超える主要港から小さな港までを 7 日から 200 日余りをかけて巡ります。また、2025 年には乗客 1,200 名のアリュールクラスの 2 隻目が加わり、保有船数は全 8 隻となります。オーシャニアクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は <https://www.nclhld.com/>

画像提供はオーシャニアクルーズ

【発行元】オーシャニア クルーズ PR 株式会社フレア